

大阪府福祉のまちづくり条例 改正の概要

□ 令和7年6月に高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令(以下、「政令」という。)が一部改正されることを受け、条例基準との整合を図るため、大阪府福祉のまちづくり条例の改正を行う。

政令改正の概要(告示の内容を含む)

(1) 便所に係る基準の見直し

現行 建築物に不特定多数が利用する便所(以下、「不特定多数利用便所」)を設ける場合は、**車椅子使用者用便房を1箇所以上**設ける

改正 ①**不特定多数利用便所を、原則各階に1箇所以上**設ける
 ②**車椅子使用者用便房を、原則各階に1箇所以上**設ける
※床面積1,000㎡未満の階(小規模階)を有する建築物においては、小規模階の床面積の合計が1,000㎡に達する毎に車椅子使用者用便房を1箇所以上設ける

(2) 車椅子使用者用駐車区画の設置数にかかる基準の見直し

現行 駐車場を設ける場合は1台以上を設ける

改正 駐車場を設ける場合は、その総数に対する割合で定める数以上を設ける
 総数が200台以下の場合 2%以上
 総数が201台以上の場合 1%+2以上

(3) 劇場等の車椅子使用者用部分の設置数にかかる基準の新設

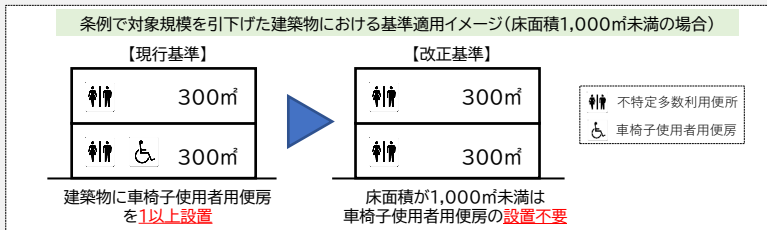
現行 基準なし

改正 座席の総数に対する割合で定める数以上を設ける
 総数が400以下の場合 2以上
 総数が401以上の場合 0.5%以上

政令改正に伴う条例への影響

○政令では2,000㎡以上の建築物に基準適合義務を求めているが、大阪府では条例において、規模要件の引下げを行っている

○政令の車椅子使用者用便房の設置基準の見直しにより、1,000㎡未満の建築物において、従来の基準と異なり車椅子使用者用便房の設置が不要となる



条例改正の概要

○今般の政令改正に伴い、条例で対象規模の引下げを行った建築物について、政令との整合を図る必要があることから、以下のとおり見直しを行う。


















■便所にかかる基準の見直し

①条例対象小規模建築物(床面積500㎡未満の建築物)※に対する不特定多数利用便所の設置の緩和
※政令基準の適合義務の緩和が可能

従来通り「任意設置」とするため、便所に係る政令基準への適合義務を求めないよう改正(第13条2項)

②床面積1,000㎡未満の建築物への車椅子使用者用便房の設置

車椅子使用者用便房を**従来通り「建築物に1箇所設置」とする**よう改正(第18条2項)

	各階の床面積が1,000㎡以上の場合	床面積の合計が500㎡以上1,000㎡未満の場合	床面積の合計が500㎡未満の場合
便所の設置イメージ	  1000㎡   1000㎡   1000㎡   1000㎡	 300㎡   300㎡	 政令基準  条例基準  200㎡  200㎡
 不特定多数利用便所	原則、各階設置	原則、各階設置	任意設置
 車椅子使用者用便房	原則、各階設置	建築物に1箇所	建築物に1箇所以上(不特定多数利用便所を設置する場合)

その他規定整備

➤ 政令の条項ずれに対応するように改正 等